

キッピッピ

三田市立図書館

2024年

3月

ほん
あたらしい本がはいったよ



きつねがはしる—チェコのわらべうた

ヨゼフ・ラダ／絵 木村 有子／編訳

岩波書店 2023年11月 Eラダ

チェコの子どもたちも、おかあさんのうたをきいて大きくなります。チェコの子ならだれでも知っているわらべうたが38編。ラダの絵はそぼくで、うたはとてもリズミカル！思わずくちずさんでしまいそう。あなたも声をだしてうたってみて！



ルラルさんのたきび

いとう ひろし／作

ポプラ社 2023年10月 Eイト



キャンプにいってりょうりをしたいルラルさんは、ためしににわでたきびをしてみることにしました。まきをどんどんくべていくと、けむりがもくもく、あたりはまっ白。かぜがふいて大きなほのおがもえあがり、みんなおおさわぎ。やがてほのおが小さくなつて…。あとはよんでのおたのしみ！

《本館》キャラクターだいしゅうごう！

みんなのしつている、キャラクターたちが出てくる絵本をあつめました。



びじゅつかん ババールの美術館

ロラン・ド・ブリュノフ／作 せな あいこ／訳
評論社 2005年4月 Eブリ

ぞうのババールとセレストは、えきを美術館につくりかえます。
せかいじゅうからあつめた作品さくひんをてんじして…。ゆうめいな絵や
ちょうこくが、ぞうになっています。美術館びじゅつかんに行きたくなるおは
なしです。

《ウッディタウン分館》たべもの いっぱい

たべものの本ほんをあつめました。すきなたべものは、あるかな？

あ・さ・ご・は・ん！

武田 美穂／作
ほるぷ出版 2021年12月 Eタケ

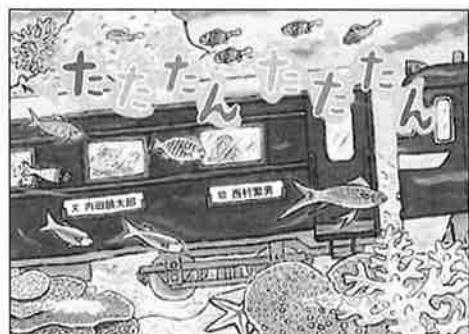
「さあ、あさだ。おなかがすいた。あさごはん!!!」おこめをと
いで、しゃかしゃかしゃか。やさいをきってトントントン。
いろいろ音おとがきこえてきます。あさごはんができるまでを
えがいた、おいしそうなえほんです。

あ・さ・ご・は・ん！



《藍分室》のりもの いっぱい！

バスにでんしゃにひこうき…。のりものが大かつやくする本ほんをあつめました。お気に入りの
のりものを見つけてくださいね。



たたたん たたたん

内田 麟太郎／文 西村 繁男／絵
童心社 2019年9月 Eニシ

うみのそこをれっしゃがはしっています。りゅうぐうで
うらしまだろうをおろしたら、つぎは空そらをはしります。
れっしゃは、どこへいくのでしょうか？



ほん

みつけたよ！こんな本



しがつ ケイゾウさんは四月がきらいです。



市川 宣子／作者 さとう あや／画家
福音館書店 2006年4月 Nイチ

ケイゾウさんはにわとりです。三月まで、ようちえんのこやでひとりでくらしていました。ところが、ある日とつぜん、うさぎのみみこがひっこてきて…。なにかと子どもたちにうけのよいみこと、クールなケイゾウさん。ふたりのくらしはどうなる?!

まるごと発見！校庭の木・野山の木① サクラの絵本



勝木 俊雄／編 森谷 明子／絵
農山漁村文化協会 2015年12月 47/15

日本の春の花といえば、だれもが思いつくのが『サクラ』。入学式やお花見など春のおもいででの場所には、いつも美しいサクラのすがたがあります。では花がさきおわり、夏秋冬とサクラの木はどのようにすごすのでしょうか。花やえだのつかいみちなどもわかり、もっとサクラがみぢかにかんじられます。

図書館員のお気に入り♪ 「はるがきた」

ジーン・ジオン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵 こみや ゆう／訳
主婦の友社 2022年3月 Eグレ



「どうしてはるをまつてなきゃいけないの？」という男の子のひとことから、このおはなしははじまります。それから、人びとは町中に春の絵をかきました。ところがその夜、雨がふって、みんなが描いた絵がながされてしまします。ほんものの春はいつやつてくるのでしょうか。春がまちどおしくなる1冊です。

こんげつ かみ 今月の紙しばい

たこたこ おさんぽ

よこみち けいこ／脚本 藤本 四郎／絵

童心社 2017年9月 Kタ



海のほいくえんのタコ組さんは、遠くまでおさんぽに行くことになりました。手をつなぎながら、さんごの林をおよいでいくと、ヤリイカさんに出会います。そのとき、岩かけから大きなウツボがやってきました。みんな上手にすなや岩にかくれましたが、見つかってしまいます。タコ組さんのみんなはウツボからにげることができますのでしょうか。

なるほど！

いきものまめちしき



こんげつ
今月は
コツメカワウソ
だよ！

りくを走って、水の中もスイスイおよぐことができる
コツメカワウソのこんなこと知っていますか？



せかいじゅうに 12 しゅるいのカワウソがすんでいて、その中でもっとも小さいのがコツメカワウソです。赤ちゃんの体長は 15 センチほどですが、おとなになると 40~65 センチのどうながのからだになります。



コツメカワウソの赤ちゃんの毛は、はい色がかった色ですが、40日ほどたつと茶色になっていきます。茶色の毛はかたくて長く、からだにぎっしり生えています。そのため、水中では水をはじき、からだがひえるのをふせいでいます。